

包括連携協定を締結

金沢学院と北陸銀行



締結後握手を交わす飛田理事長と高木頭取
=本学会議室

学校法人金沢学院と北陸銀行は7月15日、包括的な連携・協力に関する協定を締結しました。この協定は、人材交流や教育研究の推進、学生の採用など、幅広い分野が対象となり、金沢学院大学、北陸銀行それぞれの活性化に寄与することを目的としたものです。金沢学院大学1号館会議室で、飛田秀一理事長と高木繁雄頭取が覚書を交わしました。

具体的な連携内容

- 1、地域企業との共同研究、委託研究、経営相談等に関する支援・協力
- 2、文化・芸術に関する支援・協力
- 3、寄付講座、セミナー、シンポジウムなどの開催・運営に関する支援・協力
- 4、インターンシップの受け入れ、修学・就職等の学生支援に関する協力
- 5、IT推進、経営分析に関する支援・協力

北陸銀行とはこれまで、2009年4月から同行金沢支店内「ほくぎんアートギャラリー」で学生作品を展示するなどの協力関係を推進してきましたが、今回の協定締結によって、さらに強化・拡大されることになりました。

今回の締結により、本学と銀行との包括連携協定は、2行になりました。

北三大会活躍に

学長褒賞

第44回北陸三県私立短期大学体育大会入賞者（3位以上）に対する学長褒賞授与は7月7日、4号館講堂で行われました。

榎木裕学長から団体優勝のバスケットボール競技、個人優勝したソフトテニス競技の亀田結希さんと裏結希さんに金メダルが授与されました。また、団体2位のバドミントン、ソフトテニスに銀メダル、団体3位のバレーボールの各競技に銅メダルが授与されました。



水流園主将が宣誓

第1回全日本大学選抜相撲金沢大会は7月17日、石川県卯辰山相撲城で開催され、地元推薦で金沢学院大学相撲部が出場しました。開会式で、水流園（つるぞの）貴一相撲部主将が選手宣誓をしました。写真

団体戦で、小向勇太選手が1勝し、応援に駆け付けた本学教職員や地元ファンから、大きな拍手が送られました。相撲部顧問の東四柳史明教授は「この大会出場を飛躍の契機にしたい」と語っていました。個人戦で、東高校相撲部OBの遠藤聖大選手（日大）が初代王者に輝きました。

巨匠から新鋭まで

金沢学院大学美術教員展

学校法人金沢学院の「金沢学院大学美術教員展2011」は7月6日から12日まで、北國新聞交流ホールで開催され、日本画、洋画、陶芸、漆芸に19点の力作が展示されました。

文化功労者・日本芸術院会員の大樋長左衛門副学長をはじめとする美術界トップの巨匠から美術文化学部を卒業した期待の新鋭まで同大学、短大、東高校に勤務する15人による初の合同展で、690人の

入場がありました。会期中には、美術文化学部芸術文化学科の学生や、東高校の美術デザインコースの生徒が団体鑑賞し、中路融人教授をはじめ、展示作家自らの解説を聞いて芸術作品への理解を深めていました。

なお、「清鐘台チャリティー作品展」が併設され、その収益は「清鐘台基金」に当てられます。



解説する中路教授

北國新聞交流ホール